

NPO法人 鹿児島技術士の会 講演会

1. 目的：

会員や一般社会人へ向けて、最新科学知見・技術・産業動向等の講演をとおして科学技術への好奇心を高めるとともに、広くその啓発・普及を図る。

2. 事業計画

鹿児島において科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、建設業等あらゆる産業のイノベーションや起業、その課題解決にむけた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

2-1 今回の内容

平成23年12月20日(火)14:00～17:00

鹿児島市よかセンター（キャンセビル7F 第一会議室）

鹿児島市中央町10番地（ダイエー内）

会費：一般；1,000円、NPO会員；700円（会場・資料作成等）

申込先：NPO法人鹿児島技術士の会 鹿児島市東開町12—10（鹿児島土木設計(株)内）
事務局長 狩集 克己 099-260—6262(12月9日までにお願ひします)

演題：日本全土を襲った超巨大噴火

講師：福島 大輔（ふくしま だいすけ）

1973年生まれ。NPO法人桜島ミュージアム 理事長 鹿児島大学非常勤講師

博士(理学)：鹿児島大学理学部地学科卒、鹿児島大学大学院理学研究科地学専攻修士

課程修了、鹿児島大学大学院理工学研究科生命物質システム専攻 博士課程 修了

※専門は火山地質学

2-2 講演要旨

南九州は4つのカルデラの形成過程で噴出した火砕流堆積物に広く覆われている。特に、始良カルデラの29000年前の超巨大噴火にともなう火砕流は大規模で、いわゆるシラスとして堆積しこの地域の風土の基底にある。始良カルデラの超巨大噴火の前兆から火砕流発生にいたる推移を理解することは、この地で自然現象を理解して安全な暮らしをしてゆくために身につけておくべき必要事項である。とりわけ、日頃、土を素材とす

る建設部門の技術者が火砕流の堆積過程を理解しておくことは的確な研究、計画、設計、施工に必要不可欠である。また、活発化する桜島の噴火活動に対応する防災意識の醸成や火山砂防の現状にも言及する。

3. 共催後援等

共催 鹿児島県測量設計業協会（CPD建設系・測量系3単位認定申請）、鹿児島県建設コンサルタンツ協会、鹿児島県地質調査業協会

後援 鹿児島県
鹿児島県技術士会
鹿児島県建設業協会(CPDS→受付番号B655517)3ユニット(登録は各自でお願いします)

CPD認定申請 日本技術士会九州支部 3単位